



I 第30週の発生動向 (2019/7/22~7/28)

1. 水痘については、三戸地方+八戸市保健所管内で**注意報**が解除されました。
2. 手足口病については、むつ保健所管内で**警報**が発令されました。東地方+青森市保健所管内、弘前保健所管内、三戸地方+八戸市保健所管内、五所川原保健所管内、上十三保健所管内では**警報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
3. 伝染性紅斑については、五所川原保健所管内、上十三保健所管内で**警報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。
4. ヘルパンギーナについては、県全体の定点当たり報告数が4週連続で増加しており、今後の発生動向に注意が必要です。
5. 流行性角結膜炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
6. マイコプラズマ肺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
7. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告は、A型2人、B型1人でした。

II 第30週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	1	0.08			1	0.07			1	0.11			3	0.05	1
	RSウイルス感染症			6	0.67	2	0.20	2	0.40	1	0.17			11	0.26	1
小児科	咽頭結膜熱	1	0.13	1	0.11	2	0.20			1	0.17	2	0.50	7	0.17	0
	A群溶血性レン球菌咽頭炎	2	0.25	11	1.22	10	1.00	2	0.40	16	2.67			41	0.98	15
	感染性胃腸炎	33	4.13	11	1.22	28	2.80	26	5.20	7	1.17	8	2.00	113	2.69	8
	水痘	2	0.25			2	0.20	3	0.60	1	0.17	1	0.25	9	0.21	-8
	手足口病	88	11.00	76	8.44	53	5.30	59	11.80	33	5.50	26	6.50	335	7.98	91
	伝染性紅斑	3	0.38	6	0.67	13	1.30	11	2.20	8	1.33	1	0.25	42	1.00	-15
	突発性発しん	4	0.50	2	0.22	4	0.40	2	0.40	1	0.17	1	0.25	14	0.33	-10
	ヘルパンギーナ	31	3.88	34	3.78	5	0.50	16	3.20			3	0.75	89	2.12	47
	流行性耳下腺炎	1	0.13	3	0.33	2	0.20	2	0.40			1	0.25	9	0.21	0
	眼科	急性出血性結膜炎														
	流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33	4	2.00	1	1.00					7	0.64	6
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)										1	1.00		1	0.17	-3
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎										8	8.00		8	1.33	-3
	無菌性髄膜炎															0

■ は警報、■ は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

風しんの流行・風しんの追加的対策について

2018年7月下旬から、大都市圏を中心に、風しん患者報告数が大幅に増加し、流行が続いています(図)。

風しんは、感染者の飛まつ(咳、くしゃみ)などによって他の人にうつる、感染力の強い感染症です。妊娠初期の妊婦が風しんに感染すると、出生児が先天性風しん症候群(眼や耳、心臓に障害が出る)になる可能性があります。

風しんも先天性風しん症候群も、効果的な治療法はなく、ワクチンによる予防が最も重要です。

抗体保有率が特に低い昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性は、風しんの抗体検査を原則無料で受けることができます。さらに、抗体検査の結果、抗体価が十分でないことがわかった方は、風しんの予防接種を原則無料で受けることができます。対象者の方には、順次お住いの市町村からクーポン券が届きますので、抗体検査を受けましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [風しんの流行・風しんの追加的対策について\(青森県HP\)](#)

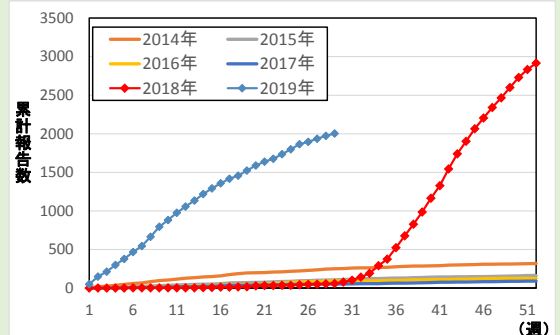


図: 全国における風しん累計報告数 (2014年~2019年第30週)

風しん 対策 青森県



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前3人、八戸市1人、五所川原1人（2019年計：137人）
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：青森市1人、八戸市1人（2019年計：4人）
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類全数把握対象疾患）：弘前1人（2019年計：6人）
- ・侵襲性肺炎球菌感染症（五類全数把握対象疾患）：上十三1人（2019年計：12人）
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：青森市1人（2019年計：20人）

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2019年第27週～第30週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
27	A型肝炎1人	梅毒1人	梅毒1人	つつが虫病1人		
28	百日咳1人		破傷風1人 百日咳2人			
29	アメーバ赤痢1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症2人 百日咳2人		腸管出血性大腸菌 感染症1人			
30	腸管出血性大腸菌 感染症1人 梅毒1人	劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人		侵襲性肺炎球菌感 染症1人	

・第29週に青森市保健所管内でカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2人の届出がありましたので追加しました。

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患)（2019年第27週～第30週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
27	1		1	1		
28	1	2	1	1		
29		1	2			
30	1	3	1	1		

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2019年第1週～第29週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	11725	3	54	1460	19	11	302	260	10	11

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア
累積報告数	1	1	56	10	81	176	94	2	1	25

分類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	5	1066	5	478	178	1080	44	540	8	100

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症
累積報告数	530	640	25	338	27	2125	271	3	3651	83

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	67	45	9381	2004	662	17

青森県（2019年第1週～第30週までの累計）

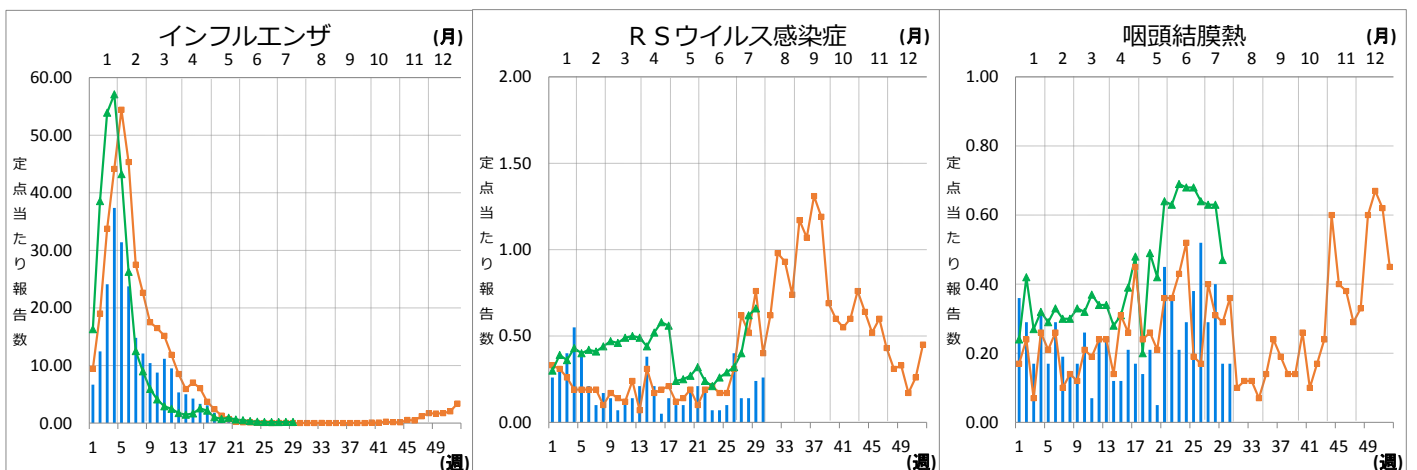
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	137	4	1	1	6	7	3	1	19	2

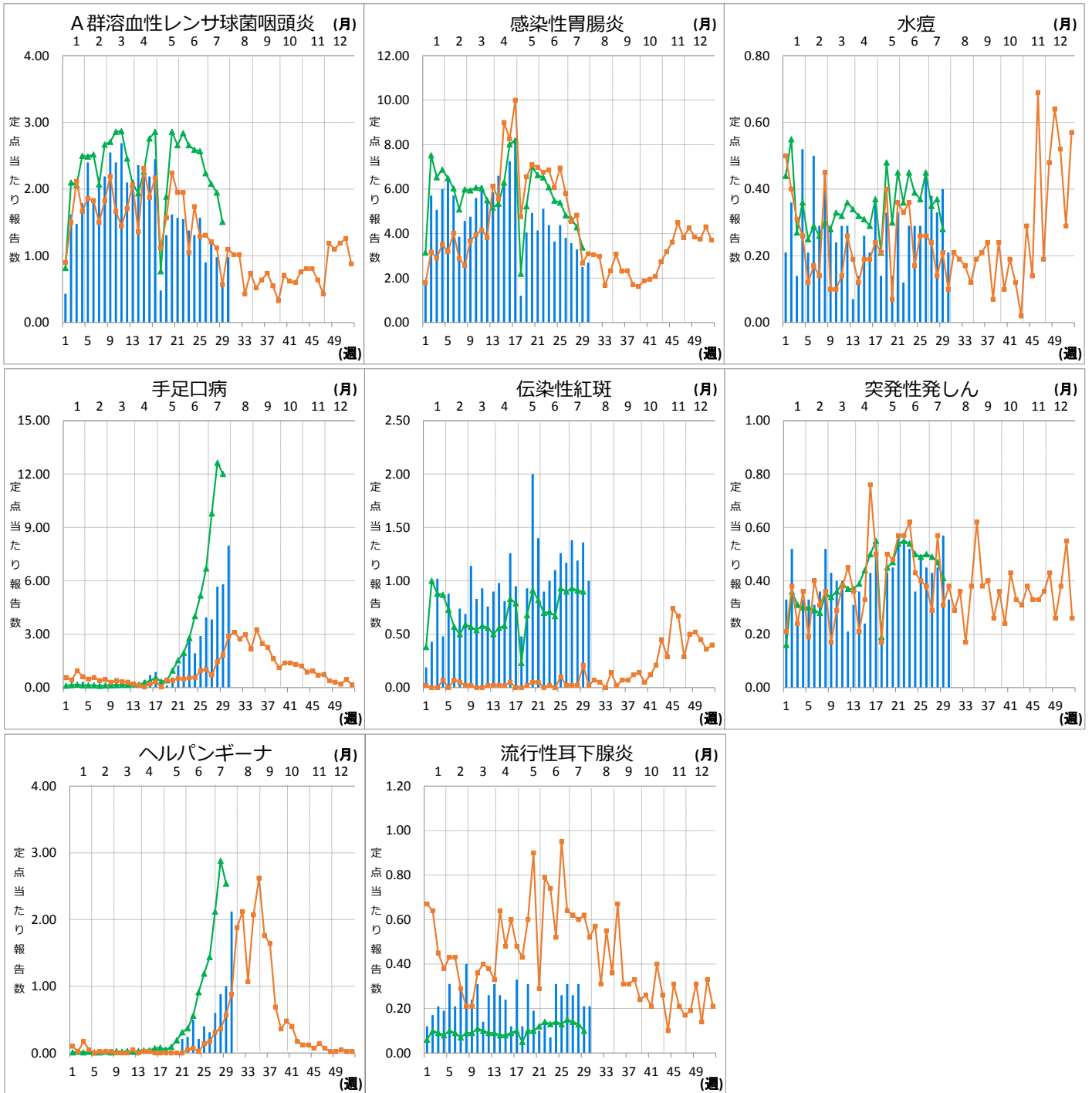
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
累積報告数	1	1	6	2	1	12	1	20	2	4

分類	五類
疾病名	百日咳
累積報告数	21

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2019年第30週、ただし全国は前週）

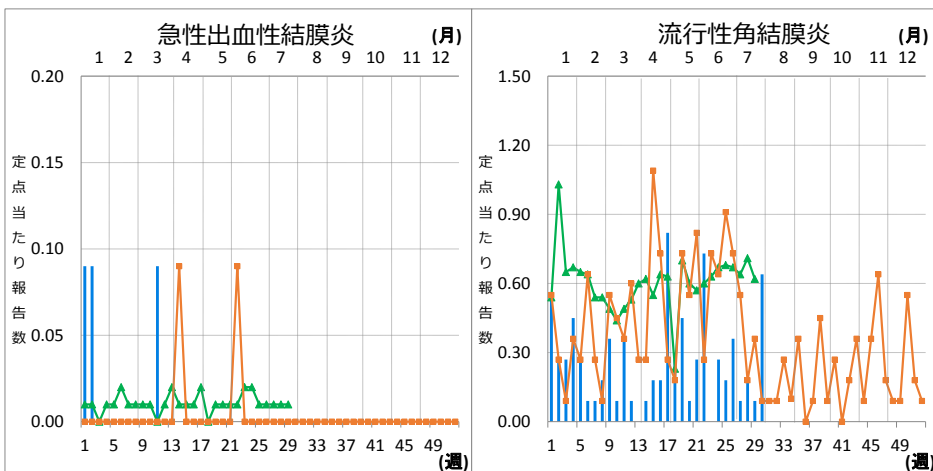
グラフの説明 ← は2019年青森県、■は2018年青森県、▲は2019年全国





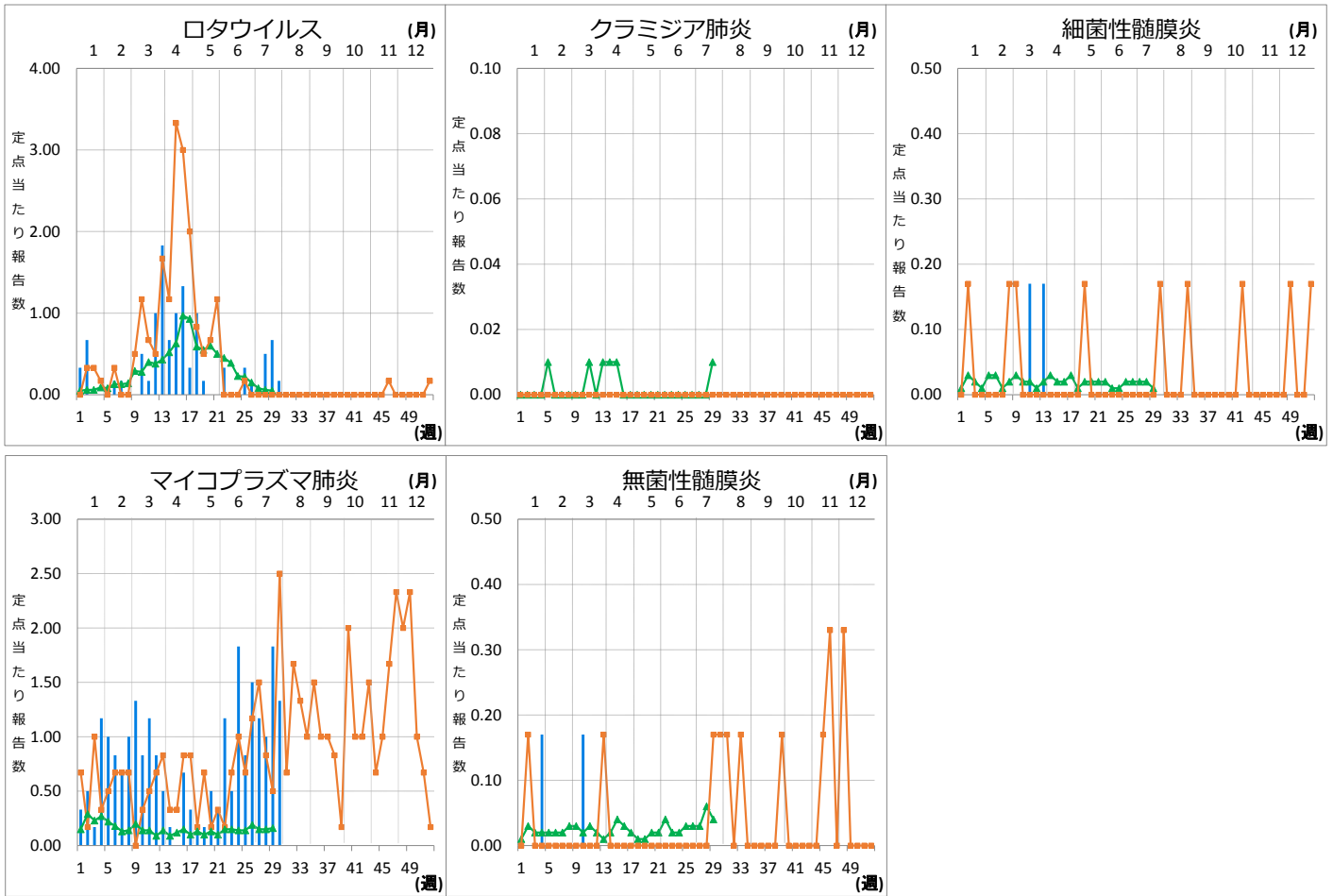
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2019年第30週、ただし全国は前週)

グラフの説明 — は 2019年青森県、 — は 2018年青森県、 —▲は 2019年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2019年第30週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2019年青森県、■—■は2018年青森県、▲—▲は2019年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2019年第30週

報告はありませんでした。

2019年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	月(週)							7月				計 (施設別)
		1月 1-4週	2月 5-8週	3月 9-13週	4月 14-17週	5月 18-21週	6月 22-26週	27週	28週	29週	30週		
介護・老人福祉関係施設	件数	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	発症者数	29	0	24	89	0	0	0	0	0	0	0	142
児童・婦人関係施設等	件数	4	2	1	3	2	0	0	0	0	0	0	12
	発症者数	69	47	17	53	14	0	0	0	0	0	0	200
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	48	0	18	0	0	0	0	0	0	0	66
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	5	3	2	5	2	0	0	0	0	0	0	17
	発症者数	98	95	41	160	14	0	0	0	0	0	0	408